

(インドネシア) - 1件

### 上流掘削リスクを削減する政府掘削プログラム

2017年12月12日



(写真：ユヌス・サイフルハック地熱局長)

政府は、他の省庁／機関と密接に協力し地熱開発を推進するため努力を続けている。今回エネルギー・鉱物資源省は財務省と共同で上流掘削のリスクを減らすことが期待される掘削プログラムを開始した。

政府は掘削プログラム実施のため、財務省の資金と世界銀行の助成金を使用し PT. Sarana Multi Infrastruktur ( SMI ) を操業者に指名した。世界銀行の助成金は 49 百万米ドルで Wae Sano 地熱地域の 2 鉱区に割り当てられ 2018 年末までに実施される予定。

今回の掘削プログラム実施については、地熱のインフラ部門基金管理に関する 2017 年 5 月 12 日付財務大臣規則 62 / PMK.08 / 2017 で規制されている。

また、当該プログラムをサポートするため、エネルギー・鉱物資源省と財務省との間で、電力インフラ整備の枠組みにおける地熱利用の促進を支援するための地熱データ促進と情報提供の協力に関する覚書（MOU）を締結している。

ユヌス・サイフルハック地熱局長は、12月11日にバンドンで開催された政府掘削ワークショップのオープニングにて、政府の掘削プログラムは、基本的に地熱開発のリスクを減らす事を目指しており、マイナーな投資家や民間の開発者、国営企業が地熱開発へ参画することを奨励することが期待されると述べた。当該ワークショップは「Geothermal Assessment Resource and Financing」をテーマに、エネルギー・鉱物資源省、新再生可能エネルギー・省エネルギー総局(EBTKE)、地熱局、地熱開発企業、投資家、銀行等が参加した。ゲストスピーカーとして、ジェイコブス・コンサルタントのジェイムス・ロレス氏、グレッグ・アーサー氏、PT. Star Energy Geothermal Indonesia 社のアスリザル・マスリ氏が出席した。ジェイコブス・コンサルタントは、インドネシアにおける地熱開発を加速するため、ニュージーランド貿易省とEBTKE 総局とのパートナーシップ契約実施機関の運営者としてニュージーランド大使館から任命されている。

(出典：新再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) 地熱局)